

令和5年度
「学校教育における主権者教育に係るワーキンググループ」
での検討について

岩手県明るい選挙推進協議会事務局
(岩手県選挙管理委員会事務局)

ワーキンググループの開催状況

回数等	予定
1回目 (R5.6.21)	課題認識を共有するとともに、WGとしての方向性（WGの進め方）を確認
2回目 (R5.10.12)	学校現場が抱える課題や取組の現状等を整理し、具体の検討課題を設定
3回目 (R5.11.29)	2回目で設定した検討課題について、解決策を検討
4回目 (R6.2.22)	提言（案）の内容等について意見交換を実施。

令和5年度ワーキンググループにおける議論の要点		
現状と課題	目指すべき姿	WGの目標（ゴール）
<ul style="list-style-type: none"> 小・中学校での啓発授業の実施が少ない。 文科省の<u>主権者教育推進会議</u>では、小・中学校での主権者教育の充実の重要性を指摘（最終報告書） 主権者意識の十分な醸成には、人格形成の基礎が培われる小・中学校からの取組が重要 （特に中学校で）過密な授業スケジュールの中で、啓発授業に係る枠の確保が困難 教員は多忙で、主権者教育に注力する余裕が不足 教員に、主権者教育に係る学習指導要領との関連性や重要性等を認識してもらう必要 市町村選管との役割分担について検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 教員が主権者教育に係る学習指導要領との関連性や重要性等を認識し、小・中（・高校）の各段階において効果的に主権者教育が実施されること。 ※ 特に小学校が重要 教員の負担軽減と主権者教育の実施拡大の両立。 例) 授業内で教員による主権者教育が実施され、必要に応じて選管による啓発授業も実施 高校においても、小・中学校に係る検討の成果を活用（出前授業以外の取組の拡大等） 出前授業等における市町村選管との役割分担の確立（体制の違い等を考慮） 	<ul style="list-style-type: none"> 目指すべき姿の実現のために必要な取組の内容、関係者間での役割分担、進め方等について、WGとして方向性を整理し、関係機関に提言する。 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>【提言の方向性】</p> <ol style="list-style-type: none"> 教員の負担をできるだけ増やさず、授業内で主権者教育を展開するための取組メニュー（選択肢）の整理 ※主に小学校での重点的取組を想定 教員に主権者教育の重要性を再認識してもらうための取組 市町村選管の体制、取組状況を考慮した役割分担等の検討 県教委（教育事務所）と連携した取組メニューの展開 ※短期、中長期で視点を分けて整理することも検討 </div> <p style="text-align: right;">2</p>

提言1 小学校における主権者教育の取組メニューの整備について	
全体像	
1	<p style="text-align: center;">選管による出前授業型</p> <p>選挙制度や選挙の意義等に関する講義及び架空の選挙等を題材とした模擬選挙を実施する。</p>
2	<p style="text-align: center;">啓発用教材活用型</p> <p>選挙についてまとめた教材を作成し、授業等において活用する。</p>
3	<p style="text-align: center;">投票用機材等貸出型</p> <p>児童会・生徒会役員選挙等の際に、実際に使用する投票機材等の貸出を行う。</p>
4	<p style="text-align: center;">その他 (ポスターコンクール、授業参観、児童・生徒会選挙等の活用)</p> <p>啓発授業をパソコンの募集や授業参観、児童・生徒会選挙と併せて実施する。</p>

3

提言1 小学校における主権者教育の取組メニューの整備について

1 選管による出前授業型（出前授業等のメニュー 素案）

- Aタイプ…講義を主とした内容（1コマ分 選挙制度、社会との関係 等）
 - Bタイプ…模擬投票を主とした内容（1コマ分 候補者の選び方 等）
 - Cタイプ…講義及び模擬投票を実施（2コマ分 いわゆる通常の啓発授業）
 - Dタイプ…オーダーメイド（学校の要望に応じて、内容を企画）
 - Eタイプ…宿題用ワークシートの活用（親子の話し合いを促進）
- ※ Aタイプ～Dタイプは選管職員の対応を想定するが、学校の要望に応じて一部参加といった対応も想定する。
- ※ 上記いずれも授業用資料を整備し、教員が参考にできるような内容とする。

4

提言1 小学校における主権者教育の取組メニューの整備について

2 啓発用教材活用品

サポート用教材の提供（例）

- ・ 選挙制度や選挙の意義等をまとめた教材の作成
- ・ 講義用の動画の作成（生徒に配付されているタブレットの使用を想定し、動画共有サイト等の活用を想定する）
- ・ 宿題用ワークシート

様々な参考図書が出版されているため、ここでは授業で使用する簡易的な教材を想定する。

3 投票用機材等貸出型

選挙を身近に感じてもらうため、市町村選管が保有する投票箱等の貸し出しを行う（参考 盛岡市選管、宮古市選管 等）。

4 その他（ポスターコンクール、授業参観、児童・生徒会選挙等の活用）

啓発授業をパソコンや授業参観、児童会・生徒会選挙と連動して実施する。このほか、パソコン作品募集と併せて選挙の意義等を紹介するための周知用資料の作成など。

5

提言2 教員に対する主権者教育の重要性等の啓発・広報について

教員向け広報用チラシ 構成イメージ

(表)

タイトル
1 主権者教育の意義
2 小学校段階での重要性
3 既存の授業との関係

(裏)

4 多様な選択肢の紹介
5 問い合わせ先

8

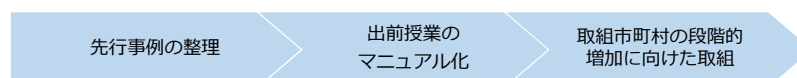
提言3 市町村選管の役割と今後のロードマップについて

最終的には各市町村選管が単独で実施できる状態になることが理想ではあるが、市町村選管の体制や現行の取組状況も考慮し、①役割分担、②ロードマップなどについて提言することとしてはどうか。

役割分担の整理

- 理想は全市町村選管が関わる形で役割分担すること。
- 学校に示した選択肢とともに、役割分担を市町村選管にも共有
- 体制の違い等も考慮し、段階的な取組が必要（県選管が実施する啓発授業を参観し、イメージを掴んでもらう。支部研修の機会を活用する等）

ロードマップの整理



9

提言3 市町村選管の役割と今後のロードマップについて

【参考：市町村選管における啓発授業等の主権者教育の取組状況】

- 1 啓発授業の実施実績の有無（R1～R5） ※主催したもの
実績「有」と回答した市町村の数は以下のとおり。

	回答数	備考
小学校	4	宮古市、花巻市、滝沢市、矢巾町
中学校	5	盛岡市、宮古市、久慈市、紫波町、岩泉町
高等学校	19	
支援学校	3	盛岡市、花巻市、矢巾町
大学等	4	盛岡市、宮古市、奥州市、滝沢市

※ いずれも実績なし……14

- 2 啓発授業以外の主権者教育に関する取組
生徒会役員選挙等への投票箱の貸出（盛岡市、宮古市、花巻市、紫波町）

10

提言3 市町村選管の役割と今後のロードマップについて

- 3 現在、小・中学校での主権者教育に取り組んでいる市町村選管の今後の取組方針

	回答数	備考
取組を拡大したい	2	宮古市、久慈市
取組を継続したい	6	盛岡市、花巻市、滝沢市、紫波町、矢巾町、岩泉町
縮小を検討している	0	

- 4 現在、小・中学校での主権者教育に取り組んでいない市町村選管の今後の取組方針

	回答数	備考
今後、取り組みたい	6	遠野市、釜石市、雫石町、山田町、軽米町、九戸村
取り組むのは難しい	18	
その他	一戸町：学校から啓発授業の希望があれば対応	

11

提言4 県教委(教育事務所)と連携した取組メニューの展開

県教委(教育事務所)と連携し、試行的に実施する学校を選定の上、取組メニューを実施してはどうか。

- A **各教育事務所に実施校の選定を依頼**(例 盛岡:小中各2校、中部・県南:小中各2校、沿岸南部・宮古・県北:小中いずれか1校計11校)
 - B **選定された学校において、啓発授業を実施**(複数の取組メニューから希望の内容を実施する)
 - C 主権者教育の意義を再認識してもらうため、**担当教員等に参観**してもらう。
- ※ 通常の申請があった学校については、従来どおり実施する。